



本住吉神社(1916年)



やまじのしょう  
住吉に鎮座する山路荘(住吉川をはさむ東西の地)の総氏神です。「おはらい」の神様で、大阪の「住吉大社」はここから遷ったといわれています。

甲南学園



1919年、実業家・教育者の平生 鉦三郎氏が掲げた教育理念「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重し、各人の天賦の特性を伸長させる」により創立された旧制甲南中学校が甲南学園のルーツです。

# 東灘区の70年

1950年に旧5カ町村の  
住吉村・御影町・魚崎町・本庄村・本山村が  
神戸市と合併し東灘区が誕生しました。  
今年70周年を迎える東灘区の歴史を振り返ります！

〈資料提供〉住吉歴史資料館・甲南学園

三ヶ町村合併調印式(1950年)



青木浜



青木浜はかつて、漁業が盛んなところで主にイワシ漁業を行っていました。現在では、商業施設として地域の皆様から親しまれています。

区役所(1960年)



灘中・高等学校(1950年)



1927年、灘五郷の酒造家両嘉納家及び山邑家の協力を受け旧制灘中学校として創立されました。嘉納治五郎氏を顧問に迎え「精力善用」「自他共栄」を建学の精神としてスタートしました。

御影公会堂



1933年旧御影町が白鶴酒造7代目社長嘉納治兵衛氏より寄付を受け建設。1957年から1983年まで結婚会場としてのべ2万組に利用されました。2018年には国の登録有形文化財に登録されました。



## 東灘ダイジェスト年表

- 1950年4月 住吉村・御影町・魚崎町が神戸市と合併 東灘区誕生
- 8月 神戸市バスが東灘区に開通
- 10月 本庄村・本山村が神戸市と合併 現東灘区となる
- 1969年 東灘卸売市場(現東部市場)開設
- 1974年 神戸市立東灘図書館開館
- 1986年 「梅」が区の花に決定
- 1988年 六甲アイランド入居開始
- 1992年 東灘区民センター(現東灘区文化センター)開館
- 1995年 阪神・淡路大震災
- 2009年 旧乾邸・庭園 市指定文化財・名勝に指定
- 2018年 御影公会堂 国の登録有形文化財に登録
- 2020年6月 灘の生一本が日本遺産に認定
- 10月 区政70周年

## 区長挨拶



東灘区長 金谷 勇一

東灘区は、1950年に旧5カ町村(住吉村・御影町・魚崎町・本庄村・本山村)が神戸市と合併して誕生し今年で70周年となります。合併当時約84,000人であった人口は、阪神・淡路大震災で大きな被害を受け減少しましたが、現在213,761人と市内で3番目の多さとなっています。

江戸時代には、六甲山からの急流を利用した精油、酒米精製が盛んになり、海岸地域に酒蔵が軒を連ねるようになりました。明治以降には、近代化に伴う交通機関の発達により大阪・神戸の良好な郊外住宅地として発展しました。

加えて、だんじりの巡行など誇るべき伝統文化が受け継がれ、灘の魚崎郷・御影郷は日本の酒どころと呼ばれるようになりました。また、大学や美術館が数多く立地する文教の街でもあります。また、埋立造成で生まれた六甲アイランドは港湾・住宅・学校等が計画的に配置された海上文化都市となっています。

東灘区は、子育て世代が増加し地域の魅力を活かし、地域の皆様方の様々な活動により活気に溢れています。これからも、この街に住んでよかった、住み続けたい、また戻りたいと思っただけのまちづくりに区民の皆様と共に取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。